

# 群馬経済 同友会報

2024  
AUGUST

8



2024年5月27日(月)に第69回 定時総会・演奏会を開催

## 2024年夏号

No. 126

群馬経済同友会

# CONTENTS

\* も く じ \*

2024年度 第69回 定時総会 .....	1
第36回 全国経済同友会セミナー .....	3
2024年度 群馬県予算説明会 .....	6
「2022-2023年度 提案書」に関する意見交換会 .....	13
各委員会活動報告 .....	14
新会員・退会員 .....	17
会員慶事のお知らせ .....	19
事務局だより .....	20

## 2024年度 第69回 定時総会

2024年5月27日（月）、会員224名（内委任状出席114名）の参加のもと、群馬ロイヤルホテルにて「2024年度 第69回 定時総会」が開催された。

総会では、坂本代表幹事が議長に選任され、荻野事務局長より第1号議案「2023年度 事業報告」および第2号議案「2023年度 決算報告並びに監査報告」を発表、高橋会計幹事により監査報告が行われた。その後、第3号議案「2024・2025年度 役員選任（案）」では、新たに新幹事として遠藤直行氏（株田村屋 社長）、細谷可祝氏（細谷工業(株) 社長）、石川雅之氏（石川建設(株) 社長）、山口博之氏（群馬製粉(株) 社長）、新会計幹事として高橋弘樹氏（高信化学(株) 社長）が就任する案が示され、満場一致により可決された。第4号議案「2024年度事業計画（案）」では、深井代表幹事が今年度の事業計画を発表、川崎総務企画委員長、藤澤経済活性化委員長、本田次世代育成委員長、石井地域創生委員長、金井未来探索委員長、板垣交流親睦委員長より各委員会の事業計画が発表された。最後に荻野事務局長が第5号議案「2024年度予算（案）」の説明を行い、全ての議案が承認され、審議が終了した。

審議終了後には、深井代表幹事が「役員の新たな任期が始まることから、会員一人一人が積極的に参加し、より一層の活動を行っていききたい」と抱負を述べ、定時総会は閉会した。



議長の坂本代表幹事



事業計画を発表する深井代表幹事



高橋会計幹事による監査報告



川崎総務企画委員長による計画発表



藤澤経済活性化委員長による計画発表



本田次世代育成委員長による計画発表



石井地域創生委員長による計画発表



金井未来探索委員長による計画発表



板垣交流親睦委員長による計画発表

定時総会に先立ち開催された恒例の演奏会では、フルートとピアノによるデュオ演奏が披露され、2人が奏でる美しいハーモニーに会場は酔いしれた。



演奏会の様子

定時総会に引き続き開催された懇親会では、ご来賓代表として群馬県知事 山本 一太 様、群馬大学長 石崎 泰樹 様にご挨拶を頂戴し、町田副代表幹事の音頭で乾杯が行われた。懇親会では、終始和やかな雰囲気の中会員相互の懇親が更に深まった。最後に武井副代表幹事が閉会挨拶を行い、懇親会を締めくくった。



群馬県知事 山本 一太 様



群馬大学長 石崎 泰樹 様



乾杯の様子



歓談の様子



乾杯の挨拶をする町田副代表幹事



閉会の挨拶をする武井副代表幹事



## 第36回全国経済同友会セミナー

総務企画委員会

2024年4月18日（木）・19日（金）に『どうする！人口減少NIPPON ～“幸福度日本一”の地で考える～』をテーマに、第36回全国経済同友会セミナーが福井市にて開催された。全国から約1,200名（当会参加者13名）の経済同友会員が参加した。

オープニングでは、これまでに通算9回の全米優勝を誇る福井県立福井商業高等学校チアリーダー部「JETS」のパフォーマンスが披露され、山下 良則 全国経済同友会セミナー企画委員長による開会挨拶で幕を開けた。福井経済同友会 代表幹事 林 正博 氏による歓迎挨拶、福井県知事 杉本 達治 氏による来賓祝辞の後、人口減少をテーマに3つのセッションを設け、1日目は第1セッションと第2セッションのパネル討論を行った。

懇親パーティーでは、冒頭に福井商業高等学校チアリーダー部「JETS」の卒業生を中心とした一般社団法人チアドリームプロジェクトによるチアダンスが披露された。中部経済同友会 代表幹事 天野 源之 氏の開会挨拶、福井経済同友会 代表幹事 清川 肇 氏の乾杯に続いて立食懇談に入った。全国各地から参加した同友会員は福井県の食材に舌鼓を打ちながら、終始和やかに親交を深めた。

2日目は第3セッションのパネル討論後、関西経済同友会 代表幹事 角元 敬治 氏より総括挨拶があり、その中で角元氏は、「われわれ経営者は明確なパーパスの発信と浸透、従業員が能力を発揮できる機会の提供や環境整備にまい進していくことが大切だ。」と締めくくった。

次に、曹洞宗 大本山永平寺 副監院 西田 正法 氏より『「貧（とん）から貧（ひん）へ」～生き方の転換～』と題した特別講演を頂いた。その中で、「自分さえよければいいと貧（むさぼ）るのが“貧”、分け与えるのが“貧”。善縁を結び、おかげさま、ありがとう、の人生を送ろう。」と語った。

最後に、次期開催地を代表して広島経済同友会 代表幹事 武田 龍雄 氏が広島県への来県を呼びかけ、福井市長 西行 茂 氏の御礼挨拶、福井経済同友会 代表幹事 吉田 真士 氏の閉会挨拶で全日程が終了した。



歓迎挨拶をする林代表幹事  
(福井経済同友会)



パネル討論の様子



セミナー会場の様子



オープニングアトラクションの様子



懇親パーティーの様子



懇親パーティーでのアトラクションの様子



総括挨拶をする角元代表幹事(関西経済同友会)



特別講演講師の西田正法氏



福井駅前にて

## ■ パネル討論

### ■第1セッション 『人口減少社会の将来展望と課題』

#### <問題提起者兼パネリスト>

増田 寛也氏 (公社)経済同友会 会員/日本郵政(株) 取締役兼代表執行役社長

#### <議長>

地下 誠二氏 (公社)経済同友会 幹事・地域共創委員会委員長/株日本政策投資銀行 代表取締役社長

#### <パネリスト>

青柳 俊彦氏 福岡経済同友会 代表幹事/九州旅客鉄道(株) 代表取締役会長

山崎 史郎氏 内閣官房参与(社会保障・人口問題)/内閣官房 全世代型社会保障構築本部事務局 総括事務局長

### ■第2セッション 『人口減少時代の企業経営を考える ~エンゲージメントの観点から~』

#### <議長>

加藤 博氏 中部経済同友会 代表幹事/株ノリタケカンパニーリミテド 代表取締役会長

#### <パネリスト>

林 正博氏 福井経済同友会 代表幹事/株福井銀行 取締役会長 兼 代表執行役

松江 英夫氏 (公社)経済同友会 幹事/デロイト・トマツグループ 執行役/デロイト・トマツインスティテュート 代表

堀川 大介氏 日本電気(株) 執行役 Corporate EVP 兼 CHRO 兼 ピープル&カルチャー部門長

### ■第3セッション 『今、あらためて地域創生を考える』

#### <議長>

宮部 義幸氏 (一社)関西経済同友会 代表幹事/パナソニック ホールディングス(株) 取締役 副社長執行役員

#### <パネリスト>

小松 洋介氏 (一社)仙台経済同友会 幹事/(一社)VENTURE FOR JAPAN 代表理事

宮澤 一洋氏 北海道経済同友会 副代表幹事/ウェルネット(株) 代表取締役社長

鷲頭 美央氏 福井県 副知事

## ■群馬経済同友会参加者

□氏 名	□当会役職	□所属企業名	□所属企業役職
坂本 正堂	代表幹事	S R Dホールディングス(株)	会長
深井 彰彦	代表幹事	(株)群馬銀行	頭取
武井 宏	副代表幹事	(株)ボルテックスセイゲン	社長
大竹 良明	副代表幹事	冬木工業(株)	社長
川崎 信行	総務企画委員長	(株)川崎工務店	専務
静 朋人	総務企画副委員長	(株)並木	社長
井上 幸己	地域創生副委員長	(株)井ノ上	社長
天野 洋一	幹事	G Nホールディングス(株)	会長
有田 喜一	幹事	群栄化学工業(株)	会長
遠藤 直行		(株)田村屋	社長
花井 好機		井上道路(株)	社長
荻野 成晃	事務局 長	群馬経済同友会 事務局	
堤 正輝	事務局 次長	群馬経済同友会 事務局	

(敬称略・順不同)



## ■経済活性化委員会 群馬県予算説明会

# 令和6年度 群馬県予算について

講師 群馬県 総務部 財政課長

関根 則子 氏

日頃より、県政の推進に多大なるご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。また本日はお忙しいところ、このような貴重な機会を頂きまして、重ねて感謝申し上げます。

早速ですが、少し自己紹介をさせていただきます。私は平成4年に群馬県庁に入り、総務部門や財政課、県立病院の関係のセクションにありました。一番長かったのが、市町村課でございまして、そこに十数年おりました。各市町村の方々の相談に乗ったり、一緒に課題を考えたりするお仕事をさせていただき、その経験が、私にとっては非常に貴重な財産になっております。最近では、令和3年から、知事戦略部の未来創成室というセクションに就いておりました。昔は官民共働と言われていたのですが、最近は官民共創という言葉が主流になっております。一緒に働くというよりも、一緒に創っていくという言葉ですが、そのようなセクションにおり、民間の皆さまと一緒に企画の段階から色々なプロジェクトを立ち上げるということにも携わらせていただきました。昨年の4月から現職（財政課長）におりまして、県の予算編成や財源確保などに携わらせていただいております。

早速当初予算について説明をさせていただきますと思います。令和6年度の予算ですが、ネー

ミングがございます。「幸福実感・新群馬実現予算～群馬モデルで未来を創る～」というものです。言うまでもなく、昨年までは新型コロナウイルス感染症対策が、非常に重要なミッションでございました。その他にも災害リスクなどの自然災害や貧困の問題など様々ございまして、県民の生命と健康、暮らしを守るという自治体本来の重要な仕事に注力をしてまいりました。もちろんこのような仕事は、幸福実感とありますように、県民の幸福度の向上を推進するうえで、非常に重要なこととございます。それに付け加えまして、群馬県がさらなる発展をしていくということでは、新しい施策、新しい群馬の創造というところに注力をしていく必要もあるということから、このようなネーミングになっております。

それでは予算の中身の方に移らせていただきます。重点施策が4つございます。1つ目が「県民の幸福度の向上」、2つ目が「新群馬の創造」、3つ目が「群馬モデルの発信」、最後4つ目が「財政の健全性の確保」です。それぞれ順次説明させていただきます。まず重点施策の1つ目「県民の幸福度向上」です。こちらは、2つの大きな柱を掲げております。「誰一人取り残されない群馬」と「幸福度指標の引き上げ」です。

まず「誰一人取り残されない群馬」について説明します。その中の特色のある教育として、



「非認知能力の育成」を掲げています。この非認知能力ですが、あまり聞きなれない言葉かと思います。通常、知能検査や学力検査というものは、私どもの世代でも、子どもの頃に受けていたわけですが、そのようなものでは測定できない力、例えばやる気や忍耐力、協調性、自制心など、人の心や社会性に関係するような力が非認知能力と言われております。これらに着目して、教育の実践をしていく政策でございます。昨年11月には知事がスコットランドの教育庁に参りまして、提案した共同研究などがありますので、今年度から具体的な取り組みを開始する予定です。

また「インクルーシブ教育の普及」です。障害のある子も障害のない子も、同じ場所で共に学ぶということを、インクルーシブ教育といたしますが、これを進めていきたいと考えております。まずはモデル校を設置するところから始めます。その設置に向けた調査研究や保護者、学校現場、県民の皆さまに対して、理解促進を図っていくことを行なってまいります。

「誰一人取り残されない群馬」の中の2つ目の政策が「こどもまんなか政策」です。その政策には、まず「新生児の先天性代謝異常等検査」があります。こちらは既に20の疾患について、新生児のうちに検査をすることによって、早期発見、早期治療ができますので、検査を既に実施していますが、この対象疾患を2つ、新たに公費負担で行なう事業になっております。次に「養育費の不払いの対策」です。こちらも同様に元々実施していますが、この対策を強化します。さらに「ケアリーバーの支援拡充」ですが、年齢が18歳を越えると児童養護施設などを退所しなければならなくなる、そのような方々のアフターケアの拠点を充実させていきたいというものです。

「誰一人取り残されない群馬」の中の3つ目の政策が「女性支援」です。困難な問題を抱える女性、例えばDVなど色々な問題を抱えている女性を支援するためのケアに当たる心理士を派遣するなどの取り組み、また相談体制をつくるという事業になっております。

4つ目が「多文化共生・共創」です。2024年4

月に伊勢崎市内に開校したみらい共創中学の教育活動の充実や支援体制の構築をしていきたいと考えております。

最後に「交通弱者に配慮した未来の交通の実現」です。交通弱者とはお年寄りや障害を持った方などのことですが、そのような方でも自由に移動できる社会を目指して、MaaSの社会実装を進めていくものです。GunMaaSという名前のスマートフォンのアプリがあります。こちらのアプリは群馬県がつくったもので、スマホ1つで目的地までのルートが検索でき、予約や決済の手続きも一括でできるような仕組みのアプリです。それを今、前橋を中心に展開させていただいており、他市町村にも横展開していくことを、今年度は行なっていきたいと考えております。

「幸福度指標の引き上げ」についてお話しします。群馬県では、県民幸福度アンケート調査を実施しております。ホームページにも載っていますが、この県民幸福度アンケート調査をまとめたものが幸福度レポートです。この調査におきまして、幸せを判断する際に重視することは何ですかという項目がございます。この結果で一番多い回答が、やはり健康状況でした。複数回答で65%の方が、健康状況でご自身の幸福度が変わるとご回答されておりました。ちなみに2位は家族関係、3位は所得でした。このような回答から群馬県としては、県民の健康面を支える医療提供体制の拡充に積極的に取り組んでいこうと考えております。ちょうど1年前に、新型コロナウイルス感染症が2類から5類になりましたが、もしまた新たな感染症が発生した場合、次のパンデミックに備えるために今年から本格的に、医療体制、提供体制の整備や人材育成に着手するなど、さらなる対応をしていくものです。

在宅医療や災害医療の対応拠点となる群馬メディカルセンターの整備、デジタルを活用した周産期医療体制の充実、遠隔医療体制整備などにも取り組んでまいりたいと思っております。また医師確保対策は、継続して就学資金を出していくなど色々な取り組みを行なっておりますが、

こちらを引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

次に「福祉施策のさらなる充実」です。「福祉医療費補助」ですが、群馬県では子どもの医療費の無料化を高校生世代まで行なっております。自己負担なし、窓口支払なし、所得制限なしということで、全国でも最も手厚い制度と評価をいただいております。高校生までの無料化は、2023年10月から行なっており、今後も継続させていきたいと考えております。また「高齢者孤立対策」ですが、この対策は2022年度から行なっております。高齢者と若い世代が交流ができるような仕組みがあり、それをモデル的に行なう事業です。このような取り組みも継続して行なってまいります。

「幸福度指標の引き上げ」の最後の項目は「健康寿命の延伸による幸福度の向上」です。県の公式アプリG-WALK+というものがありますので、これを一層活用していただき、県民主体の健康づくりをさらに進めていただきたいと考えています。またその使っていただいたデータを特定検診データとして分析をして効果的な施策を検討していきたいと考えております。ぐんまちょい得デジタルシニアパスポートはマイナンバーカードと連携させ、より利便性の高いものにしていくものです。以上が重点施策1つ目の「県民の幸福度の向上」でございました。

続きまして、重点施策2つ目の「新群馬の創造」です。「新群馬の創造」では、3つの近未来構想を名打っています。1つ目は「リトリートの聖地」、2つ目は「クリエイティブの発信源」、最後3つ目は「レジリエンスの拠点」です。

では、まず「リトリートの聖地」についてご説明させていただきます。群馬県には温泉をはじめとして色々な癒しの空間がたくさんあります。忙しい日常から離れて、体と心をリセットできるような豊かな自然が群馬県の魅力ではないかということで、この魅力を最大限活用するために、「リトリートの聖地」という目標を掲げ、長期滞在型の観光を進めたいと考えております。今までも取り組んでいますが、今年度もリトリートを推進するために、農畜産物やアクティビティーなど、高付加価値のサービス体験を組み

合わせた群馬県ならではの旅行スタイルを提案していきたいと考えております。それに向けた観光地の受入環境整備として、観光地に対しても支援を用意していますので、ご活用いただきたいと考えております。

次に「県立赤城公園の活性化整備」があります。こちらは民間活力を活用させていただきながらキャンプ場、キャンピングフィールドやランドステーションなどを整備して、令和7年度のオープンを目指しています。

さらに「インバウンドの誘客促進」ですが、外国人の旅行者の方にはたくさん来ていただけるように、多言語の観光ウェブサイトの運用や外国人向けの交通チケットのデジタル化などを推進していくことを検討しております。ペットツーリズムというものもありますが、これは最近ペットを連れて旅行をされたいというニーズがありますので、ペット同伴可能な施設の情報発信などを始めていきたいと考えております。最後は「温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進」ですが、こちらはユネスコ無形文化遺産の登録に向け推進していくものです。

次に「クリエイティブの発信源」です。こちらではまず「クリエイティブ人材の育成」とありますが、こちらは国と連携してGメッセ群馬にTUMOセンター新設をするというものです。聞き慣れない言葉だと思いますが、TUMOセンターというのはアルメニアにございます。お子さんたちが学校帰りにそこに寄って、プログラミングや動画の製作などができる場所がTUMOセンターです。子どもたちが立ち寄って自由に使える施設になっています。このTUMOセンターをアジアで初めて群馬県に持つてくるというプロジェクトです。このデジタル人材育成プログラムを導入しますが、場所は高崎のGメッセ群馬に整備をすることで順次計画をしております。またtsukurunの運営とサテライトですが、tsukurunは前橋駅前のアクエルの中にある施設です。こちらは小中高生向けのデジタル人材育成施設で3DCGやゲームのプログラミングやVRなどを使える施設です。

今は前橋にあるだけですが、サテライト展開として他の地域にも展開していきたいと考えています。

次に「クリエイティブの拠点化」です。Gメッセ群馬をクリエイティブの拠点にしていこうという施策です。この基本構想やスタジオ利用の実証、またスタジオ機能強化のための改修設計などを行なってまいります。

他には「映像制作エコシステム構築」として映像産業や人材を集積させるために、若手のクリエイターの映像制作の支援をするものや新たに県内で映像制作をする会社に補助をして、大型作品の誘致に取り組んでいくものです。

「新群馬の創造」の最後、3つ目が「レジリエンスの拠点化」です。簡単に言うと災害対策ですが、大きな災害はいつどこで発生するか分かりませんので、災害対策は非常に重要なものです。レジリエンスの拠点化に向けて民間の方と連携して、色々な施策をしていきます。その中に「命のコンテナプロジェクト」というものがございます。これは高機能なコンテナを準備して災害時に活用するもので、その社会実装をしていくものです。高機能なコンテナは、通常時にはオフィスであったりシャワールームであったりトイレであったりという色々な形のコンテナですが、災害が起きたときにコンテナをトレーラーに積んで、その災害の場所に持って行って使うというプロジェクトです。能登半島地震がありました。トイレのコンテナを、元々群馬県で整備しており、それを石川県の方に持っていき使っていていただいております。これは実証実験として非常に喜ばれた事例で、これらを民間の方と一緒に進めていくというものです。

次に新しい減災目標を定めるために、「地震被害想定調査」を12年ぶりに行ないます。

次に災害対応力を向上させるために、県庁舎内の「危機管理センターの拡張整備」、「県内医療機関の機能強化」などにも取り組んでまいります。

最後に、引き続き「水害レジリエンスNo.1の実現」として221億円の予算を計上し、水害対策や防災インフラ整備などに取り組んでまいります。以上が重点施策の2つ目「新群馬の創造」でございました。

続いて重点施策3つ目の「群馬モデルの発信」です。群馬モデルの追求では、群馬県の強みを生かした独自の群馬モデルを国内外に発信する取り組みを行なっておりますが、今年度もそれを加速して行なっていくというものです。

「群馬モデルの発信」の1つ目は「群馬モデルの追求」です。その中に「全県リビングラボ構想の実現」がございまして。分かりにくい言葉ですが、多様な人材や考えを受け入れるということで、群馬県から新たなビジネスが次々と生まれるような環境をつくるということが、この整備の目標でございまして。全県リビングラボは、生活の中で色々な新しいチャレンジや新しいビジネスを行なっていきたいと思える土壌をつくるというものです。具体的に何をするかというと、色々な取り組みや実証実験などができる場所を発掘してご案内する、他には異業種の方々のマッチングや連携して新しいプロジェクトができるようにするなどの支援を県が行なっていくものです。そのような取り組みを全県リビングラボ構想とっております。次に農業の関係です。自立、持続的かつ安定的な発展のために化学肥料の使用を低減させて「有機農業の普及・拡大」を推進していくことも大事だと考えております。群馬県は畜産業が盛んですので、群馬県の特徴を生かして有機農業、有機質肥料を普及させ「有機農業の普及・拡大」を目指していきたいと考えております。最後に「ぐんまちゃんのブランド化」についてはぐんまちゃんが30周年を迎えますので、それを記念した事業を実施すること、また海外プロモーションを強化していきたいと考えております。

「群馬モデルの発信」の2つ目は「県有施設の効果的な整備（ワイズスペンディング）」です。群馬県では県施設につきましても官民の知恵を結集して、予算をしっかりと投入することで、県民に誇りにしてもらえようという質の高い施設をつくり上げていくことを目指して取り組んでおります。大きな投資でございまして老朽化した施設をそのまま維持していくよりは、ここで投資をして中長期的に見たときに財政負担が少なくなることを目指しており、それにプラスして賑わいも出てくるということであると、メリット



の方が大きいので、そのような検討を継続して重ねているところがございます。

まずは前橋市にありますフラワーパークですが、令和7年4月にリニューアルオープン予定で改修工事や開園準備を順次進めているところです。次に敷島公園の新水泳場につきましては、民間のノウハウを活用してPFI方式で設計などに着手いたしまして、県産木材を活用した特徴のある施設を造っていくものです。3つ目は、令和7年4月の開校に向け、沼田高校と沼田女子高校を合わせた新高校の建設を順次進めています。4つ目の県立学校の体育館の空調整備は今年度から順次整備を進めていく予定です。今年度は10棟分を予定しております。

「群馬モデルの発信」の最後は「デジタルトランスフォーメーションとグリーンイノベーションの推進」に関するところがございます。群馬県では、デジタルの力で地域課題を解決するために、ありとあらゆる分野でデジタルトランスフォーメーションを推進しています。

1つ目が「ぐんまDXハイスクール」という事業です。こちらはICTを活用した文理横断、文系と理系の横断的な学びを強化する目標で、具体的には公立高校に3Dプリンターや高機能パソコンなどの環境整備を行なうという内容の事業です。2つ目が「電子処方箋の活用」です。こちらはマイナ保険証を活用した電子処方箋を、病院や薬局などで導入していただくために、補助をしていくというところがございます。3つ目は「グリーンイノベーション加速化支援」です。脱炭素に取り組もうとする市町村と民間企業のマッチングを支援する内容です。市町村もグリーンイノベーションに取り組んでいこうという意気込みの多いところもありますので、その仲介役を県の方で行なうというところがございます。4つ目ですが、こちらは「再エネ導入支援」です。中小企業や個人の方々に対し、太陽光発電の設備や蓄電池の導入を補助するという内容です。以上が重点施策3つ目の「群馬モデルの発信」でございました。

最後が重点施策4つ目の「財政の健全性の確保」です。3つありますが、「基金残高の確保」、「県債発行額の抑制」、「県債残高の縮減」です。

この3つのポイントについて、説明させていただく前に、今回の予算案の総額についてご説明いたします。予算総額は7,816億円です。前年度に比べ381億円の減少です。新型コロナ関係の予算を除きますと、前年と比較して218億円増加した積極的な予算になっております。これは新しい施策に積極的に取り組んでいくために増額になっているものです。こういった増額をしている中でも、財政の健全性の確保について、堅調な結果が出ていることを説明させていただきたいと思います。

まずは「基金残高の確保」です。財政調整基金は財政の健全性を見るうえでの指標で、ご家庭でいうところの貯金のようなものになります。最近気象災害が頻発化しておりますので、もし大規模災害が起きてしまったときに貯蓄がなければ、すぐに対応することが難しくなってしまうため、やはり一定の基金を確保していくことが非常に大事なことです。令和6年度、当初予算編成後の基金残高は269億円ですが、昨年よりも多い金額となっております。平成10年から比べると、最高額でございます。数年前には、非常に少ない時期もありましたので、貯金を着実に増やしているのではないかと考えております。

続きまして、「県債発行額の抑制」です。県債は、県民生活に直結する社会基盤整備のための財源ですが、大規模な施設や道路などを造る経費については、やはり将来の世代の方にも公平に負担をしていただくという観点から発行しております。ご家庭でいうところの住宅ローンなどに似ているのでしょうか。借金をして、将来何十年にわたって返していくというような仕組みのものです。ただ将来世代の方にも公平に負担していただくという考え方につきましては、少し住宅ローンとは違うのかもしれませんが、やはり残高が増え過ぎてしまうと後年度の我々の子ども世代のときに、毎年毎年の県民サービスに使える予算が少なくなってしまうことがありますので、あまり残高を増やしてしまうことはよくないということで、その点に留意する必要があります。後年度に過度の負担を負わせることがないように、県債の発行額を



適切にコントロールしていく必要があります。こういった中で、令和6年度については県債の新規発行額を475億円と前年よりも少なくできてきております。

最後は「県債残高の縮減」です。県債は、要は借金の残高というように考えていただければと思います。県債の発行抑制をすることで県債残高も令和5年度と比べ、全体で438億円減少させることができました。当初予算としては3年連続で全体の県債残高が減少したことになり、ピークであった令和3年と比べると984億円ほど減らすことができていると、端的に申し上げますと、貯金を増やして、借金を減らすことができましたということです。ここまでが、「財政の健全性の確保」でございました。

このように財政の健全化で少しずつ結果を出すことができるようになったことは、この間に県有施設の在り方など、様々な意見について見直しを行ってきたということも大きな理由だろうと思っております。他にはできるだけ少ない投資で大きなリターンがあるように、もちろん国の色々な補助金などもできるだけ活用できるように工夫をしてきました。今年予算を組むに当たり、限られた人的資源と財源を有効に活用することで費用対効果の高い事業への投資や民間のリソースを活用させていただくなどして自ら稼ぐ施策をする、またデジタル化によって事務の効率化をするなどに注力をして事業の見直しを進めてきました。この結果、県債残高を少しずつ減らしながらも、基金を確保することができたのではないかと考えております。今後ともこういった状況をできるだけ続けていけるように努力をしていきたいと思っております。

次に補足をさせていただきます。まずは歳入です。県で一番重要な収入である県税については、2,600億円で予算全体の3割を占めております。令和6年度は県民税の定額減税の影響がありますが、企業の業績が非常に堅調であるとお伺いしておりますので、令和5年度と同程度を見込ませていただき2,600億円という予算を組んでおります。また国庫支出金は844億円ですが、これは新型コロナ対策関係の経費が大幅に減っていることが大幅減少の要因となっております。

次に歳出の状況ですが、人件費はやはり多いですが、高齢化の進展によりまして社会保障関係費が30億円ほど増加しております。社会保障関係費では平成26年、今から10年前ですが、10年前には855億円だったものが今年度には1,178億円で1.4倍という高い水準になっております。社会保障関係費は国の予算の報道などでもありますとおり、群馬県においても着実に増えている状況でございます。次に投資的経費というものがあるのですが、フラワーパークや赤城公園の整備を実施していくため62億円増でございます。

次に基金残高ですが、先ほど申しましたとおり、前年度に比べ50億円増加する269億円でございます。最後に公共事業費・投資的経費です。令和6年度の公共事業費は761億円です。これは前年度と同額で防災・減災対策に重点的に予算を配分して前年度と同額の予算を確保しております。

予算については以上ですが、最後に組織改正について少し説明させていただきたいと思っております。先ほど説明いたしました予算編成、予算案を推進していくために、令和6年度の組織改正は、県民の幸福度の向上と新群馬の創造に向け組織体制を整備しました。県民の幸福度の向上については誰一人取り残されない社会の実現に向け、こども政策と医療・福祉政策の体制を強化いたします。こども政策の方では、生活こども部に政策推進室を新設してこども政策の司令塔にするというものです。またこども・子育て支援課と私学・青少年課、児童福祉課を設置いたします。5課1室から6課3室に体制を整備してこどもまんなか推進監の下、新たな少子化対策の充実を図っていくものです。また医療・福祉政策の体制強化ですが、こちらは新しく健康福祉部の中に福祉局を設け地域福祉課を設置いたします。医療と福祉の両分野の連携というものを強化しなくてはなりませんので、医療・福祉連携推進室の設置もいたします。これは健康・福祉部の業務が広範囲となっているということで、医療と福祉を分けた上で連携を確保していきたいという目的でつくっております。

新群馬の創造については群馬の強みを生かし、

持続可能な農業を推進していくということで、農政部の中に有機・循環型農業推進室を設置いたします。また生産品目別に課を再編して、米麦畜産課、野菜花き課、蚕糸特産課を設置いたします。その他にはメディアプロモーション課にぐんまちゃん推進室を設置、またクリエイティブ拠点化のさらなる推進をするために、eスポーツ・クリエイティブ推進課に、クリエイティブ拠点化推進室を設置いたします。

そして最後に、県庁の縦割りの弊害をフラットな組織とするための取り組みについてご説明いたします。デジタルトランスフォーメーション課と業務プロセス改革課を統合するという事に合わせ、今回フラット型の組織を導入していくことに取り組んでおります。これまでも県庁の中では課の業務内容に応じてデスクをフリーアドレス化するなどの環境改善に努めておりますが、引き続き職員が自分の能力を発揮しやすい形を模索していきます。色々な取り組みを行なうためにフラット化を図っていくものです。

まとめませんが、私からの説明は以上となります。ご清聴、どうもありがとうございました。

(文責・事務局)

# 「2022-2023年度 提案書」に関する意見交換会

地域創生委員会

地域創生委員会では、「新しい地域創生の姿を探る」をテーマに2年間研究を行い、持続可能で次世代に繋げていくために求められるまちづくりの課題を整理し、官と民に向けた提案書「新しい地域創生の姿への推進に向けて」をとりまとめた。

2024年8月1日（木）にロイヤルチェスター前橋にて、『2022-2023年度 提案書』に関する意見交換会』が開催され、24名が出席した。

「2022-2023年度 提案書」の内容について、石井地域創生委員長より説明が行われた後、「新しい地域創生に向けた重要課題」について活発な意見交換が行われた。

## ～意見交換会の様子～



## 各委員会活動報告

### ■ 諸 会 議

- 2024年度 第1回 委員長会議  
開催日 2024年4月12日(金) 15:20~17:00  
会 場 群馬ロイヤルホテル  
出席者 13名  
議 題 2024年度 第69回 定時総会 議案
- 2024年度 第1回 幹事会  
開催日 2024年4月23日(火) 15:30~17:00  
会 場 ラシーネ新前橋  
出席者 31名  
議 案 ・会員異動について  
・正・副代表幹事への推薦(案)について  
・事務局長の交代について  
・「2024年度 第69回 定時総会」  
上程案について

### ■ 他団体会議への出席等

- 群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会 総会  
開催日 2024年5月28日(火)  
会 場 群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター  
当会出席者 荻野事務局長、堤事務局長
- 一般社団法人理想の都市建設研究会 総会  
開催日 2024年6月20日(木)  
会 場 前橋商工会議所会館  
当会出席者 荻野事務局長
- 新潟経済同友会 設立30周年記念式典・記念祝賀会  
開催日 2024年7月9日(火)  
会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
当会出席者 坂本代表幹事、荻野事務局長
- 群馬県産業教育振興会 総会  
開催日 2024年7月10日(水)  
会 場 前橋商工会議所会館  
当会出席者 荻野事務局長

### ■ 総務企画委員会

- 2023年度分 会計監査  
開催日 2024年4月5日(金)、8日(月)  
会 場 (株)吉田マネジメント、  
前橋商工会議所会館  
出席者 5名
- 第36回 全国経済同友会セミナー 福井大会  
開催日 2024年4月18日(木)~19日(金)  
テーマ 『どうする!人口減少NIPPON  
~“幸福度日本一”の地で考える~』  
会 場 フェニックス・プラザ、  
コートヤード・バイ・マリオット福井  
当会出席者 13名(全体参加者1,124名)
- 2024年度 第69回 定時総会・演奏会  
開催日 2024年5月27日(月)  
演奏会 15:00~16:00  
総 会 16:10~17:30  
懇親会 17:40~18:40  
会 場 群馬ロイヤルホテル  
出席者 224名(内委任状114名)  
I. 演奏会 鈴木 舞氏(フルート)  
藤井由香氏(ピアノ)  
II. 総 会  
第1号議案 2023年度 事業報告  
第2号議案 2023年度 決算報告並びに  
監査報告  
第3号議案 2024・2025年度 役員選任(案)  
第4号議案 2024年度 事業計画(案)  
第5号議案 2024年度 予算(案)  
III. 懇親会
- 2024年度 第1回 委員会  
開催日 2024年6月24日(月) 11:30~13:30  
会 場 ホテルメトロポリタン高崎  
出席者 12名  
議 題 ・文化講演会講師の選定について  
・公開講演会講師の選定について  
・4 経済同友会交流会(2024年度  
群馬開催)について  
・70周年記念事業について



## ■経済活性化委員会

- 2024年度 群馬県予算説明会
  - 開催日 2024年5月9日(木) 13:30~14:30
  - 会場 群馬ロイヤルホテル
  - 出席者 35名(会場28名、オンライン7名)
  - 講師 関根則子氏(群馬県 総務部 財政課長)
  - 演題 『令和6年度 群馬県予算について』

- 2024年度 第1回 勉強会
  - 開催日 2024年7月19日(金) 14:00~15:50
  - 会場 群馬ロイヤルホテル
  - 出席者 58名(会場39名、オンライン19名)
  - 講師 西和一氏(群馬県 グリーンイノベーション推進監)
  - 演題 『官民連携で目指す脱炭素社会』



講演する西氏

- 2024年度 第1回 委員会(意見交換会)  
(第1回勉強会後に開催)
  - 開催日 2024年7月19日(金) 16:00~17:15
  - 会場 群馬ロイヤルホテル
  - 出席者 26名

- 2024年度 経済活性化委員会 懇親会  
(第1回勉強会後に開催)
  - 開催日 2024年7月19日(金) 17:20~18:20
  - 会場 群馬ロイヤルホテル
  - 出席者 19名

## ■次世代育成委員会

- 共愛学園前橋国際大学 父母等大学説明会  
「企業懇談・個別説明会」
  - 開催日 2024年6月22日(土)
  - 会場 共愛学園前橋国際大学
  - 参加企業 SRDホールディングス(株)、群馬ヤクルト販売(株)、GNホールディングス(株)  
以上3社

- 2024年度 社会人講師の集い
  - 開催日 2024年6月27日(木) 14:30~17:00
  - 会場 群馬ロイヤルホテル
  - 出席者 22名(うち群馬県総合教育センター5名)
  - 内容 ①講演会
    - 講師 泉浩司氏(日本放送協会 前橋放送局 アナウンサー)
    - 演題 『相手の心に届く話し方』
  - ②意見交換会



講演する泉氏

- 群馬県立前橋高等学校 インターンシップ受入
  - 日程 2024年7月20日(土)~8月26日(月)
  - 受入生徒数 6名
  - 受入申出企業 (株)アイ・ディー・エー、(株)荻野屋、カネコ種苗(株)、(株)群馬銀行、群馬日野自動車(株)、群馬ヤクルト販売(株)、佐田建設(株)、G K U(株)、東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、(株)日産サテリオ群馬、野村証券(株)高崎支店、(株)フジサワ、(株)富士製作所、冬木工業(株)、宮下工業(株) 以上15社

- 群馬県立渋川高等学校 インターンシップ受入
  - 日程 2024年7月29日(月)~8月27日(火)
  - 受入生徒数 5名
  - 受入申出企業 (株)アイ・ディー・エー、(株)荻野屋、カネコ種苗(株)、(株)群馬銀行、群馬日野自動車(株)、群馬ヤクルト販売(株)、佐田建設(株)、G K U(株)、東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、(株)日産サテリオ群馬、野村証券(株)高崎支店、(株)フジサワ、(株)富士製作所、冬木工業(株)、宮下工業(株) 以上15社

- 共愛学園前橋国際大学 インターンシップ受入  
日程 2024年8月7日(水)～9月18日(水)  
受入学生数 19名  
受入申請先 ALSOK群馬(株)、石川建設(株)、(株)板垣、  
SRDホールディングス(株)、(株)荻野屋、  
(株)群成舎、群馬ヤクルト販売(株)、(株)  
総合PR、東京電力パワーグリッド  
(株)群馬総支社、(株)日産サテオ群馬、  
パナソニック関東設備(株)、(株)フジサワ、  
冬木工業(株)、(株)ボルテックスセイゲン  
以上14社

## □社会人講師派遣

- 2024年度 第1回 社会人講師派遣  
開催日 2024年4月16日(火)  
派遣先 群馬県立高崎商業高等学校  
対象者 3年生90名、教職員3名  
派遣講師 串田洋介氏(クシダ工業(株)/  
代表取締役社長)  
演題 『社会に向かうために大切にしたいこと』
- 2024年度 第2回 社会人講師派遣  
開催日 2024年4月19日(金)  
派遣先 群馬県立藤岡中央高等学校 定時制  
対象者 1、2、3、4年生40名、教職員10名  
派遣講師 鈴木靖弘氏(学昌賢学園  
群馬医療福祉大学/秘書室長)  
演題 『「学び続けるために」  
～将来に向けて～』
- 2024年度 第3回 社会人講師派遣  
開催日 2024年7月31日(水)  
派遣先 群馬県総合教育センター(オンライン開催)  
対象者 教職員26名  
派遣講師 藤澤星氏(株)フジサワ/  
代表取締役)  
演題 『未来を見据えた人材育成』
- 2024年度 第4回 社会人講師派遣  
開催日 2024年8月5日(月)  
派遣先 高崎市教育センター  
対象者 教職員93名  
派遣講師 大森昭生氏(共愛学園前橋国際  
大学/学長)  
演題 『学校という組織におけるマネジメント』

## ■未来探索委員会

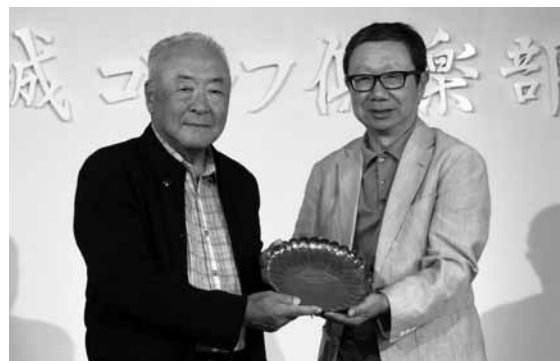
- 2024年度 第1回 勉強会(シンポジウム)【延期】  
開催時期 2024年7月  
テーマ 『群馬の未来を考える』  
内容 パネルディスカッション

## ■地域創生委員会

- 「2022-2023年度 提案書」に関する意見交換会  
開催日 2024年8月1日(木) 16:00～17:30  
会場 ロイヤルチェスター前橋  
出席者 24名
- 2024年度 地域創生委員会 懇親会  
(意見交換会後に開催)  
開催日 2024年8月1日(木) 17:40～18:40  
会場 ロイヤルチェスター前橋  
出席者 21名

## ■交流親睦委員会

- 2024年度 第69回 定時総会「懇親会」  
開催日 2024年5月27日(月) 17:40～18:40  
会場 群馬ロイヤルホテル  
出席者 101名
- 第78回 懇親ゴルフコンペ  
開催日 2024年7月4日(木)  
開催地 赤城ゴルフ倶楽部  
参加者 30名  
優勝 武井宏氏(株)ボルテックスセイゲン/  
代表取締役社長)



優勝した武井氏

## 新会員・退会員

### ■2024年4月入会



清水 聖二

(株)清芳亭  
社長

(新規会員)



横手 誠二

(株)横手館  
社長

(新規会員)



新井 孝夫

近畿日本ツーリスト(株)  
ぐんま支店  
支店長

(交代会員)



上杉 克

東京海上日動火災保険(株)  
群馬支店  
支店長

(交代会員)



浦 友治

ALSOK群馬(株)  
社長

(交代会員)



大倉 義弘

三菱電機(株)  
関越支社  
支社長

(交代会員)



勝又 浩

(株)マイナビ  
群馬支社長

(交代会員)



賀見 武史

みずほ証券(株)  
高崎支店  
支店長

(交代会員)



辻本 泰祐

野村証券(株)  
高崎支店  
支店長

(交代会員)



嶺岸 康

明治安田生命保険(相)  
群馬支社長

(交代会員)

### ■2024年8月入会



堀江 信之

一般財団法人  
群馬経済研究所  
理事長

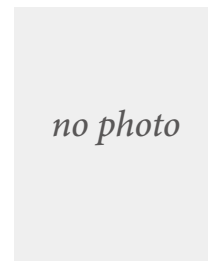
(特別会員)



宮 将史

日本銀行  
前橋支店長

(特別会員)



no photo

西田 俊太郎

(株)西田  
社長

(新規会員)



青柳 武久

(株)ドコモCS  
群馬支店長

(交代会員)



有座 邦雄

高崎ターミナルビル(株)  
社 長

(交代会員)



井 桁 力

(株)新 進  
取締役

(交代会員)



石井 英之

マックス(株)  
取締役

(交代会員)



太田口 寛

(株)グランビュー  
顧 問

(交代会員)



佐藤 賢

(株)山田製作所  
社 長

(交代会員)



曽我 治夫

トリニティアグリ(株)  
社 長

(交代会員)



武井 勉

(株)群馬銀行  
専 務

(交代会員)



早川 仁

(株)フレッセイ  
社 長

(交代会員)



星野 克行

佐田建設(株)  
社 長

(交代会員)



牧 光 一

東京電力パワーグリッド(株)  
群馬総支社長

(交代会員)

## ■2024年4月退会

有賀 義 昭	(株)有賀会計事務所	代表社員	(退会)
正田 寛	しげる工業(株)	会 長	(退会)
布施 光 一	北辰機材(株)	会 長	(退会)
青木 英 明	近畿日本ツーリスト(株)ぐんま支店	支店長	(交代)
三原 二郎	東京海上日動火災保険(株)群馬支店	支店長	(交代)
樋田 浩二	A L S O K 群 馬 (株)	社 長	(交代)
高野 則 弘	三菱電機(株)関越支社	支社長	(交代)
土屋 文 人	(株)マイナビ	群馬支社長	(交代)
松澤 浩文	みずほ証券(株)高崎支店	支店長	(交代)
梶田 明宏	野村証券(株)高崎支店	支店長	(交代)
依田 英之	明治安田生命保険(株)	群馬支社長	(交代)



## 2024年8月退会

吉田 勝美	(株) 吉田 マネジメント	会 長	(退 会)
関崎 宜史	(株) ドコモ CS	群馬支店長	(交 代)
橋本 勇一	高崎ターミナルビル(株)	社 長	(交 代)
古平 誠	(株) 新 進	副 社 長	(交 代)
樋口 浩一	マ ッ ク ス (株)	顧 問	(交 代)
木本 貴丸	(株) グランビュー	取 締 役	(交 代)
岸本 一也	(株) 山田製作所	相 談 役	(交 代)
薊 準	トリニティアグリ(株)	社 長	(交 代)
入澤 広之	(株) 群馬銀行	副 頭 取	(交 代)
植木 威行	(株) フレッセイ	会 長	(交 代)
土屋 三幸	佐田建設(株)	社 長	(交 代)
水口 明希	東京電力パワーグリッド(株)	群馬総支社長	(交 代)

(敬称略・順不同)

## 会員慶事のお知らせ

### 瑞宝双光章



遠山 巍氏

学校法人山崎学園  
理事長

### 群馬県総合表彰(文化)



中森 隆利氏

日本ピアノホールディング株式会社  
社 長

### 群馬県総合表彰(商工)



高橋 嘉一郎氏

コーワソニア株式会社  
社 長

### 群馬県総合表彰(県土整備)



狩野 明氏

上毛電業株式会社  
社 長

この度のご受賞を心よりお祝い申し上げます。今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

(新聞掲載順)

## \*事務局だより\* ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### ■今後の行事予定

- 2024年度 第2回 幹事会（新会員懇談会と同日開催）  
開催日 2024年8月19日（月）15：00～15：40  
会場 ホテルグランビュウ高崎
  
- 2024年度 新会員懇談会「説明会」（第2回幹事会と同日開催）  
開催日 2024年8月19日（月）15：45～16：55  
会場 ホテルグランビュウ高崎
  
- 2024年度 新会員懇談会「懇親会」（第2回幹事会と同日開催）  
開催日 2024年8月19日（月）17：00～18：00  
会場 ホテルグランビュウ高崎
  
- 令和6年度 群馬県高等学校生徒研究発表会兼  
第18回関東地区高等学校生徒商業研究発表大会予選  
開催日 2024年8月21日（水）  
会場 高崎市文化会館
  
- 2024年度 地域創生委員会 第1回 勉強会  
開催日 2024年8月21日（水）15：00～16：30  
会場 ホテルグランビュウ高崎  
講師 増田寛也氏（日本郵政(株) 取締役兼代表執行役社長／令和国民会議  
（令和臨調）共同代表／人口戦略会議副議長）  
演題 『人口ビジョン2100と過去の地方創生について』
  
- 2024年度 地域創生委員会 第1回 委員会（意見交換会）（第1回勉強会後に開催）  
開催日 2024年8月21日（水）16：40～18：00  
会場 ホテルグランビュウ高崎
  
- 2024年度 第5回 社会人講師派遣  
開催日 2024年8月22日（木）  
派遣先 群馬県立伊勢崎高等学校  
対象者 1、2、3年生30名、教職員15名  
派遣講師 大森昭生氏（共愛学園前橋国際大学／学長）
  
- サマーイヴェニング・パーティ  
開催日 2024年8月23日（金）18：30～20：30  
会場 前橋商工会議所会館  
内容 カンジャマ・マイム（パントマイム）

- 2024年度 総務企画委員会 第2回 委員会  
開催日 2024年9月2日（月）10：30～12：00  
開催日 ホテルメトロポリタン高崎
  
- 全国経済同友会事務局長会議  
開催日 2024年9月5日（木）～6日（金）  
会場 ホテルメトロポリタン仙台
  
- 2024年度 次世代育成委員会 第1回 勉強会  
開催日 2024年9月9日（月）14：00～15：30  
会場 群馬県総合教育センター  
講師 工藤 勇一氏（群馬県非認知教育専門家委員会委員／横浜創英中学・高等学校教育アドバイザー）
  
- 2024年度 次世代育成委員会 第1回 委員会（意見交換会）（第1回勉強会後に開催）  
開催日 2024年9月9日（月）15：45～17：00  
会場 群馬県総合教育センター
  
- 2024年度 経済活性化委員会 第2回 勉強会  
開催日 2024年9月12日（木）14：00～15：30  
会場 群馬ロイヤルホテル  
講師 磐田 朋子氏（芝浦工業大学 副学長・システム理工学部環境システム学科教授）  
演題 『脱炭素の考え方と「脱炭素先行地域」の取組みについて』
  
- 2024年度 経済活性化委員会 第2回 委員会（意見交換会）（第2回勉強会後に開催）  
開催日 2024年9月12日（木）15：40～17：00  
会場 群馬ロイヤルホテル
  
- 2024年度 第6回 社会人講師派遣  
開催日 2024年9月13日（金）  
派遣先 草津町立草津中学校  
対象者 2年生35名、教職員5名  
派遣講師 轟 英治氏（みつわ運輸(株)／代表取締役社長）
  
- 高校教員との意見交換会（群馬県総合教育センター 高校中堅教諭資質向上研修）  
開催日 2024年9月20日（金）  
派遣先 群馬県総合教育センター
  
- 2024年度 第7回 社会人講師派遣  
開催日 2024年9月25日（水）  
派遣先 群馬県総合教育センター  
対象者 新任校長（人数未定）  
派遣講師 大森 昭生氏（共愛学園前橋国際大学／学長）

- 2024年度 第8回 社会人講師派遣  
開催日 2024年9月27日（金）  
派遣先 群馬県立安中総合学園高等学校  
対象者 2年生193名、教職員17名  
派遣講師 本田博己氏（群馬ヤクルト販売株）／代表取締役会長
  
- 2024年度 総務企画委員会 第3回 委員会  
開催日 2024年9月30日（月）11：30～13：30  
会場 ホテルグランビュー高崎
  
- 2024年度 第9回 社会人講師派遣  
開催日 2024年10月3日（木）  
派遣先 群馬県総合教育センター（オンライン開催）  
対象者 教職員（人数未定）  
派遣講師 本田博己氏（群馬ヤクルト販売株）／代表取締役会長
  
- 第7回 4経済同友会交流会（主催：群馬経済同友会）  
開催日 2024年10月9日（水）  
会場 ハッ場ダム（堤体内部）  
ハッ場発電所  
浅間酒造観光センター  
ホテルメトロポリタン高崎  
参加同友会 埼玉経済同友会、（公社）栃木県経済同友会、新潟経済同友会、群馬経済同友会
  
- 群馬県立太田高等学校 企業研究所訪問研修受入  
日程 2024年10月16日（水）  
受入申出企業 (株)アイ・ディー・エー、カネコ種苗株、(株)群馬銀行、群馬ヤクルト販売株、河本工業株、佐田建設株、(株)シムックス、正田醤油株、東亜工業株、東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、新島学園短期大学、(株)日産サテオ群馬、(株)フジサワ、富士スバル株、(株)富士製作所、冬木工業株 以上16社
  
- 交流親睦視察会  
開催日 2024年10月23日（水）  
視察先 （東京）国立西洋美術館『モネ 睡蓮のとき』  
旧古河邸
  
- 2024年度 第10回 社会人講師派遣  
開催日 2024年10月25日（金）  
派遣先 群馬県立前橋工業高等学校  
対象者 3年生40名  
派遣講師 大森昭生氏（共愛学園前橋国際大学／学長）
  
- 5経済同友会 教育担当委員会交流会（主催：富山経済同友会）  
開催日 2024年10月31日（木）～11月1日（金）  
会場 パレスホテル大宮、さいたま市立大宮国際中等教育学校、大宮ソニックシティ  
参加同友会 群馬経済同友会、新潟経済同友会、（公社）栃木県経済同友会、中部経済同友会、富山経済同友会



## ○群馬県立伊勢崎清明高等学校 探究型インターンシップ受入

日 程 2024年11月12日（火）～14日（木）

受入申出企業 (株)アイ・ディー・エー、群馬ヤクルト販売(株)、(株)シムックス、東京電力  
パワーグリッド(株)群馬総支社、新島学園短期大学、(株)日産サテリオ群馬、  
(株)フジサワ、(株)富士製作所 以上8社

## ○群馬県立高崎北高等学校 探究型インターンシップ受入

日 程 2024年11月13日（水）～15日（金）

受入申出企業 (株)アイ・ディー・エー、カネコ種苗(株)、群馬日野自動車(株)、群馬ヤクルト  
販売(株)、東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、新島学園短期大学、  
(株)日産サテリオ群馬、(株)ニッパンレンタル、(株)フジサワ、(株)富士製作所、  
冬木工業(株) 以上11社

## ○2024年度 第11回 社会人講師派遣

開 催 日 2024年11月13日（水）

派 遣 先 高崎市教育センター（オンライン開催）

対 象 者 教職員60名

派遣講師 本 田 博 己 氏（群馬ヤクルト販売(株)／代表取締役会長）

## ○第79回 懇親ゴルフコンペ

開 催 日 2024年11月16日（土）

開 催 地 倶楽部 我山

## ○2024年度 第1回 正・副代表幹事会議（第3回幹事会と同日開催）

開 催 日 2024年11月18日（月）14：30～15：00

会 場 伊勢崎プリオパレス

## ○2024年度 第3回 幹事会（東毛・両毛地区懇談会と同日開催）

開 催 日 2024年11月18日（月）15：10～15：50

会 場 伊勢崎プリオパレス

## ○2024年度 東毛・両毛地区懇談会（第3回幹事会と同日開催）

開 催 日 2024年11月18日（月）16：00～18：10

会 場 伊勢崎プリオパレス

内 容 ①講演会

講 師：村 上 采 氏（(株)A y／代表取締役社長）

②懇親会

## ○全国経済同友会代表幹事円卓会議

開 催 日 2024年11月25日（月）

会 場 兵庫県神戸市

- 群馬イノベーションアワード2024 [後援]
  - 開催日 2024年12月14日 (土)
  - 会場 日本トーターグリーンドーム前橋
  
- 2024年度 文化講演会 (忘年懇親会と同日開催)
  - 開催日 2024年12月16日 (月) 16:00~17:30
  - 会場 ホテルグランビュー高崎
  - 講師 藤井隆太氏 (株龍角散 代表取締役社長)
  - 演題 『老舗企業の経営革新』
  
- 2024年度 忘年懇親会 (文化講演会と同日開催)
  - 開催日 2024年12月16日 (月) 17:40~18:40
  - 会場 ホテルグランビュー高崎
  
- 群馬県公立大学法人群馬県立女子大学 企業・業界研究セミナー
  - 日程 2025年1月21日 (火)
  - 会場 群馬県公立大学法人群馬県立女子大学
  
- 2024年度 第12回 社会人講師派遣
  - 開催日 2025年1月23日 (木)
  - 派遣先 群馬県総合教育センター (ハイブリット開催)
  - 対象者 教職員 (人数未定)
  - 派遣講師 中島慎太郎氏 (学有坂中央学園/理事長)
  
- 2024年度 第13回 社会人講師派遣
  - 開催日 2025年1月23日 (木)
  - 派遣先 群馬県総合教育センター (ハイブリット開催)
  - 対象者 教職員 (人数未定)
  - 派遣講師 久保田智之氏 (株シムックス/取締役副社長)
  
- 2024年度 第14回 社会人講師派遣
  - 開催日 2025年1月24日 (金)
  - 派遣先 高山村立高山中学校
  - 対象者 1、2、3年生71名、保護者20名、教職員20名
  - 派遣講師 渡邊裕士氏 (オリックス株前橋支店/支店長)
  
- 2024年度 第15回 社会人講師派遣
  - 開催日 2025年1月31日 (金)
  - 派遣先 桐生市立新里中学校
  - 対象者 1、2、3年生413名、保護者100名、教職員30名
  - 派遣講師 林きみ代氏 (株エーアンドバイ企画/代表取締役会長)

○2024年度 公開講演会

開催日 2025年2月3日（月）13：30～15：00

会場 昌賢学園まえばしホール

○海外懇親旅行

開催日 2025年2月20日（木）～23日（日）

訪問先 台湾（花蓮・台北・九份）



伝統ある群馬経済同友会の事務局長を仰せつかり、職務の重要性と責任の重さで身が引き締まる思いです。群馬経済同友会の更なる発展と、会員と地域にとってより一層価値ある活動となるよう、専心努力いたす所存でございます。

何卒、前任者同様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

群馬経済同友会 事務局長 萩野 成 晃



前事務局次長の萩野成晃が、事務局長に就任致しました。これに伴い、去る4月1日付の人事異動にて群馬経済同友会へ参りました。事務局長を補佐し、微力ながら、群馬経済同友会の更なる発展のため、努力を尽くす所存でございます。

何卒、前任者同様のお引き立てを賜りますよう、宜しく願いいたします。

群馬経済同友会 事務局次長 堤 正 輝



第78回 懇親ゴルフコンペ 赤城ゴルフ倶楽部にて

2024年8月発行

## 群馬経済同友会 事務局

前橋市元総社町194番地 (株)群馬銀行内  
TEL.027(255)3701 FAX.027(252)6228  
E-mail:doyukai@bay.wind.ne.jp  
URL:<https://www.gunma-doyukai.jp>

---